

校園長室から



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和8年3月24日 第99号

令和7年度終業式 ～少水魚之乐～

いよいよ令和7年度の学習活動が終わります。

精一杯頑張れたでしょう。

4月の始業式で「先生の目を見て、しっかり話を聞きましょう」とうさぎのキキちゃんを連れてきてお話ししました。

覚えているでしょうか。

先日、6年生が卒業していきましたが、それはそれは素晴らしい卒業式でした。その素晴らしさは、しっかりと相手を見つめしっかりと話を聞く姿勢が出来上がっていたからです。今でもその姿を思い出すと熱い思いがこみ上げてきます。

話は変わりますが、先日久しぶりに博物館に行ってきました。もの凄く感動したので、そのあともう一度、合計二回行ってしまいました。

そこで一つの言葉に出会いました。

「少水魚之乐(しょうすいぎょのたのしみ)」という言葉です。

少しの水しか入っていないバケツの中に入れられた大きな魚は、どんな気持ちでいるでしょうか。

想像すると、ほとんどの人が「息苦しい」とか「狭くって窮屈」とか、どちらかと言えば、あま良くないイメージになるかと思います。

言葉の本当の意味は、「水の少ない状況の魚でも、楽しみはある」と前向きにとらえています。

いよいよ4月から一つずつ学年が上がりますが、どんな状況でも楽しみを見つけながら、少しずつ成長してもらえたらと思います。

春休みは、短いですが次の学年に向けて準備してほしいのと、たくさん春の楽しみを見つけて過ごしてもらえたらと思います。

